



第 1875 回例会

平成 28 年 5 月 23 日 (月)

12:30～ 海南商工会議所 4F
IDM 報告

1. 開会点鐘

2. ロータリーソング 「それでこそロータリー」

3. 出席報告

会員総数 48 名 出席者数 27 名
出席率 56.25 % 前回修正出席率 66.67 %

4. 会長スピーチ

会長 阪口 洋一 君

みなさん、こんにちは。本日は IDM の発表をしていただくことになっておりますのでよろしくお願ひいたします。

さて、3 年に 1 度開催される規定審議会では、クラブや地区、理事会などから提案された立法案の審議と投票が行われます。2016 年規定審議会は、4 月 10 日～15 日にシカゴで開催されました。この審議会の正式な決定報告書は、2か月以内に各クラブに送られてきますとのことです。今でもウェブサイトで沢山の資料を入手することができます。審議会で採択された項目は 7 月 1 日より発効となります。

今回の規定審議会で大きな変更がなされた項目がいくつかあります。クラブ運営に関しては、理事会の書面による議事録を会員が閲覧できるようにする。今までロータリーの目的という項目がありますが、これに加えクラブの目的という項目が追加されました。

また、クラブ会員の入会金を廃止する案が承認されました。これは入会金を廃止することにより多くの人がロータリークラブに入会しやすくなるのが目的です。クラブの例会に関する件については、現在はクラブの例会は毎週行わなければならないとなっていますが、これが毎月少なくとも 2 回、会合を開かなければならぬと変更できます。今まで通り毎週例会を行うクラブが多いと思われますが、月に 2 回しか例会を行わないクラブも出現すると思われます。また、何をもって例会とするかについてもより多くの裁量をク



ラブに与えられます。この項目は規制的なものではなく、希望するクラブに月 2 回の例会というオプションを与えるものです。例会出席についても、例会に出席できない会員のために、オンライン例会を手配するか、またはオンラインでつながる方法を提供することもできる、と変更することができます。

人頭分担金が 2017 年から 2020 年まで 3 年間毎年 4 ドル増額されます。当クラブでしたら、2017 年に約 2 万円、2018 年に 4 万円、2019 年に 6 万円の増額となります。2020 年以降については、次の規定審議会で審議されるとのことです。

ローターアクターが同時にロータリーの正会員となることを認める制定案も採択されました。より多くの選択肢をローターアクターに与えることで、多くの資格ある若いリーダーにロータリーへの道を開けるようになることが期待されます。また、従来クラブと E クラブに区別をなくす立法案が採択されました。まだまだ、変更された項目がありますが、時間の都合で後日にさせていただきます。今回の審議会の内容を見ると、ロータリーの会員増強による資金調達が大きな目的となっているような気がします。

5. 幹事報告

幹事 横出 廣 君

○例会臨時変更のお知らせ

和歌山中 R C 6 月 10 日 (金) → 6 月 10 日 (金)
19:00～ルミエール華月殿
(フリートーキング)

海南西 R C 6 月 16 日 (木) → 6 月 12 日 (日)
家族例会 彦根方面
6 月 23 日 (木) → 6 月 23 日 (木)
19:00～「美登利」

和歌山南 R C 6 月 17 日 (金) → 6 月 17 日 (金)
18:30～ ダイワロイネットホテル和歌山
(年度最終夜間例会)

和歌山東南 R C 6 月 29 日 (水) → 6 月 24 日 (金)
18:30～ ルミエール華月殿
(最終親睦夜間例会)

和歌山城南 R C 6 月 30 日 (木) → 6 月 30 日 (木)
18:30～ ルミエール華月殿
(年度最終例会)

5月は青少年奉仕月間です

四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
- ②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長 阪口 洋一 幹事 横出 廣 SAA: 千賀 知起

思い出しこれを参考。今回のテーマについて意見交換をと考え、出席者にお計りしたところ全員のご賛同をいただきました。討論に入る前に、本年4月の RI 規定審議会に提案されるかもと言われていますクラブ例会年間 12 回(月 1 回)案が承認されることになりますと、今日のテーマ、出席率・会員増強に大きく関係してくるやもと思われますが、この情報についての真偽の程については自信ありません。

ここからインフォーマルディスカッションミーティングに入ります。

これからの RC の活動

- 1 派閥のない風通しの良いクラブを作る
 - 2 みんなが仲良く誰とでも話し合いができる雰囲気をつくる
 - 3 クラブ会長はクラブ改善のために誰からでも意見やアイディアを聞く
 - 4 クラブに質問箱を設置し、該当する委員会が回答する
 - 5 可能であれば配偶者同伴の例会を年数回実施する
 - 6 ロータリー財団・米山への寄付の重要性を伝える
 - 7 会費の見直しと委員会の使用経費を分析し、予算を有効活用する
 - 8 昼の例会を夜に変更することを検討する
 - 9 ロータリーという組織と地域社会奉仕の内容をわかりやすく地域に伝える
 - 10 未来にロータリーを託す人材を育成するため、会員への教育を向上させる

出席率向上について

- 1 例会を頻繁に欠席する会員に気を配り、早い段階で問題を解決する
 - 2 会長と委員長は長期間例会を欠席している会員を訪ね、欠席理由を聞き出し状況把握につとめる
 - 3 無断で例会欠席をした会員には、TEL・FAX・メール等で出席を促す
 - 4 会員をロータリアンとして成長させることができるように、委員長や副委員長が持てる能力を十分發揮し例会出席を求め、活発なロータリー活動を促す
 - 5 ロータリーは人生道場と言われるように、例会が会員一人ひとりにとって役立つものであることを意識してもらう

会員増強について

- 1 社会人としての倫理観・信義感その上奉仕への意欲を持つ人を会員として勧誘する
 - 2 会員増強及び拡大月間である8月に、会員増強キャンペーンを実施する
 - 3 会員増強が難しいという前に、今までどれだけ増強の努力をしたかを見直す

- 4 クラブ会長はエレクト年度から会員増強に努める
 - 5 40歳以下の若い会員に年会費を半額にすることを検討→増強
 - 6 年に何回かゲストデーを設け、全会員が交代で友人や会員候補者を例会に招く

気がついてみると9時になっていました。途中8時半頃二人帰っていましたが、久しぶりに「ロータリーしか語らないIDM、有意義で楽しかったです。」出席者みなさんそう言われていました。今年IDMをもう一回ぐらいやってもどうか、とまで言っていました。

9. 閉会点鐘

次回例会

第 1876 回 平成 28 年 5 月 30 日(月)

12:30～ 海南商工会議所 4F

次年度 委員会別ディスカッション



• BOX

阪口 洋一 君

IPM発表、宜しくお願ひします。

岩井 克次 君 IDMの発表します。

野球部の皆さん、自主的に練習して下さい。

イーストゴルフに出席しました。
良い経験をしました。

宮田 敬之佑 君

ってきました。質問事項全部正解でした。

田岡 郁敏 君

せました。ゴルフ 90 を切ると見得を切ってしまいました。

たんぽぽの会との交流会

海南東ロータリークラブ 社会奉仕委員会 平成 28 年 5 月 15 日(日)浜宮ビーチ



ローマ法王による
特別ミサにロータリー会員が出席



4月30日、フランシスコ・ローマ法王による特別ミサがバチカンで行われ、80カ国から約9,000人のロータリー会員が出席しました。サンピエトロ大聖堂前の広場にロータリアンのための特別席が用意された今回の特別ミサで、ローマ法王は、慈悲の心、一体感、人類への奉仕を呼びかけました。詰めかけた総勢10万人以上の出席者の中には、世界各国の警察や軍の関係者も含まれていました。これは、「世界の平和、安全、連帯感の文化を築く」ことが目的です。

アルゼンチン出身のフランシスコ・ローマ法王は、ローマカトリック教会の頂点に君臨する存在でありながら、その言葉は宗教の枠を超えて多くの人びとの心に届いています。今年発表された世論調査の結果では、フランシスコ・ローマ法王は世界で最も好感を持たれ、信頼されているリーダーであることが分かっています。法王による「平和」のメッセージは、ロータリー会員の心にも響いています。インド・タミルナドゥ州のR.アショカンさんは次のように話します。

「法王の平和のメッセージは『受容』を説いています。すべての人びとを受け入れるロータリーは、クラブや地域社会にこの平和のメッセージを届けることができるでしょう」法王とロータリーはいずれも、国境や文化を越えた存在であるため、今回のミサは、「本当に特別なもの」だと話すのは、米国カリフォルニア州からやってきたアドリアナ・ランティングさん（ロングビーチ・ロータリークラブ）です。「こんな特別な機会を逃すことはできませんでした」

特別ミサの後、K. R. ラビンドラン RI会長が率いる少人数のロータリー会員がローマ法王と謁見しました。法王はそこで、ポリオ撲滅活動の重要性を強調し、ロータリーがこの闘いを継続するよう奨励しました。ヒンズー教徒であるラビンドラン会長は、法王との謁見について、次のように振り返ります。「フランシスコ・ローマ法王より、ロータリーがポリオ撲滅の闘いを継続するようにとのお言葉をいただきました。ロータリーによるこれまでの活動に誇りを感じただけでなく、現在の活動への信念を新たにし、未来への希望を大きくすることができます」

